

10: パフォーマンスモデル作成方法~マニュアル~

見出し	操作手順
	パフォーマンスモデルを、マニュアル操作で編集する方法を解説します。
	メニューバー 表示 の2番目 パフォーマンスモデル を選択します。
	現在格納されているパフォーマンスモデル一覧が表示されます。
既存モデルの選択(0:20)	例えば、ここから IT_営業企画 モデル、こちらのモデルを編集したいと思います。
	双眼鏡ボタンをクリックしてください。
	現在、このような形でモデルが保管されています。
	これをマニュアル操作によって編集するので、 再作成 ボタンをクリックします。
	そして、この作成方法の中から、 マニュアル を選択し、 続ける をクリックします。
	すると、パフォーマンスモデルバンドを操作することが可能となります。
	注意点は、思考スタイルにおいては、ラーニング指標につき、ラーニング指標以下の言語スキル、言語的推理、計算能力、数的推理の4つの総合指標として算出されていますので、ラーニング指標自体を編集することはできない仕掛けとなっています。
バンドの編集方法(1:24)	ではここでは、バンドの編集、もしくはバンド幅の変更を行ってみます。このように、自由に幅や場所を動かすことができます。
仕事への興味の編集方法(1:37)	仕事への興味に関しては、トップ3がジョブマッチに関係する順番となります。
	下の3つの順番は、ジョブマッチの要素には関係しませんのでご了承ください。
	ここでは、 研究・分析 から 人的サービス に入れ替えてみましょう。このように興味に関するトップ3の順番が変更されました。
	編集が完了したら、 作成 ボタンを押します。
	すると、変更された部分が反映されたことが確認できます。
	こちらの内容で問題なければ、 有効化して保存 をクリックすることで、新たなパフォーマンスモデルが保存されます。

	また、これにより、作成されたモデルのバージョンが1から2になっていることが確認されます。
モデルのバージョン確認方法(2:37)	パフォーマンスモデルのバージョンアップ、バージョン変更に関しては、モデル一覧画面の 双眼鏡 ボタンより中に入り、 履歴 タブの画面で確認することができます。
	今回は、マニュアル操作によって変更がなされましたので、バージョン2のものが最新のモデルとして、掲載されていることが確認できます。
	パフォーマンスモデルのマニュアル編集に関しては、以上となります。